

がん年報 2017年

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター



Oita Medical Center

基本理念

「愛の心・手」で
病める人々に寄りそう医療

巻 頭 言

大分医療センター
院長 穴井 秀明



「がん年報 2017 年版」が完成しましたので、ご報告させていただきます。

この「がん年報」は当院で行っていますがんに関する、診断、治療、登録、発表など全ての活動を網羅した広報誌です。主要5大がん（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝がん）+前立腺がんに関しましては治療内容を詳しく分析し、一般の方でもわかるように編集しています。前回 2016 年版に引き続き、1 年間のがんに関する各部門の業績を発表できましたことは喜びです。

さて、2018 年は京都大学の本庶 佑特別教授がノーベル医学・生理学賞を受賞されました。免疫チェックポイント阻害剤「オプジーボ」の開発に関する研究成果で新しいがん治療法の実現につなげたことが評価されました。この薬は、これまで助からなかったがん患者さんを救える可能性のある夢のような治療法として注目されています。現在、皮膚がん、肺がん、腎がん、胃がんなどに適応が広がっております。ただし、このオプジーボの効果があるのは対象疾患の患者さんの 2～3 人に 1 人ほどだと言われ、全ての患者さんに効くわけではありません。それに大変高価な薬剤で、当初患者さん 1 人当たり年間数千万円以上かかると言われていましたが、現在はその半額以下に引き下げられています。本当の意味での夢の薬というのは、安価で全てのがん患者さんに効果があり、副作用のない薬の登場だと思います。将来のがん治療の進歩に期待いたします。

これからも大分県東部地区の「がんセンター」的役割を果たして地域医療の質の向上に貢献していきたいと思っています。

最後になりましたが、「がん年報 2017 版」作成に関係されました全ての職員の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

2019 年 1 月

目 次

1. 2017年がん治療実績 (主要5大がん + 前立腺がんの治療 (2017年1月～12月実績))	
胃がん治療	1
大腸がん治療	2
肝がん治療	3
肺がん治療	4
乳がん治療	5
前立腺がん治療	6
2. 院内がん登録2017年症例報告	
①院内がん登録 登録件数	7
②部位別件数	8
③年齢階層別件数	8
④性別件数	9
⑤主要5部位 + 前立腺 治療前ステージ別件数	9
⑥診断時住所	9
3. 部門別活動報告	
①放射線治療部門	10
②化学療法センター	12
③がん化学療法薬剤部	13
④緩和ケアチーム活動	14
⑤がん患者リハビリテーション	16
⑥がん相談支援センター、がんサロン、がん川柳	17
⑦市民公開講座	18
4. 当院で治療を行っているがんの種類	19
5. がん関連資格取得者 (2018年12月現在)	20
6. がん関連発表	23

1

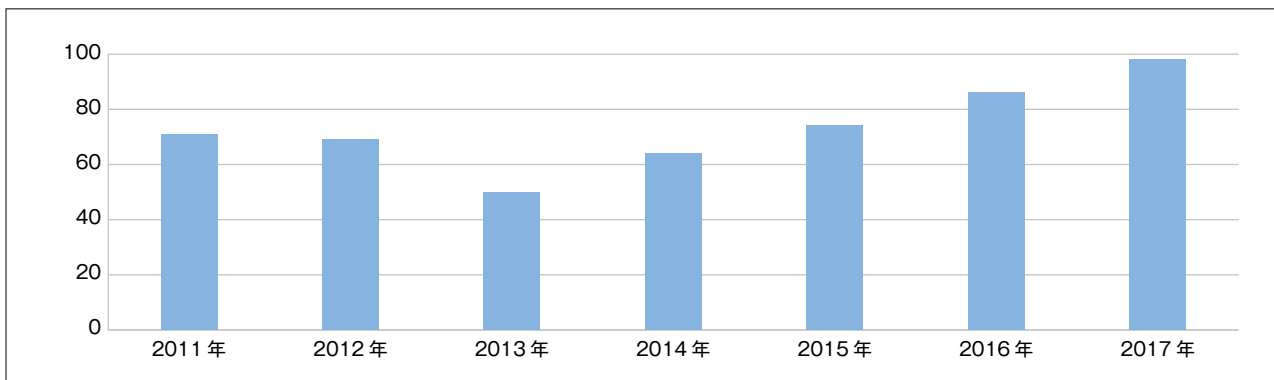
2017年がん治療実績

(主要5大がん + 前立腺がんの治療 (2017年1月~12月実績))

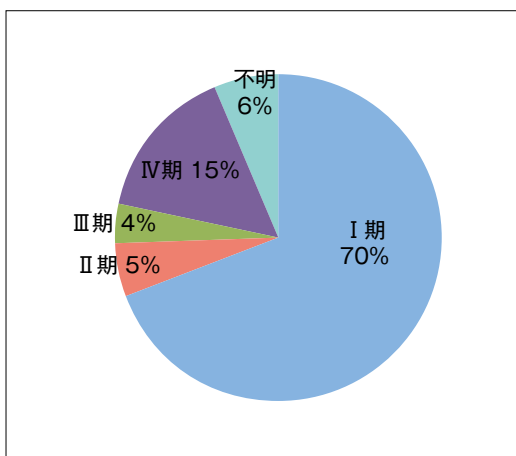


胃がん治療

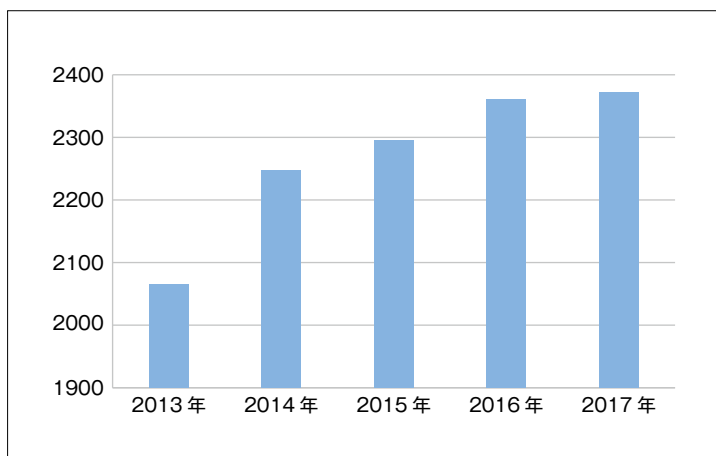
① 初回診断・治療件数



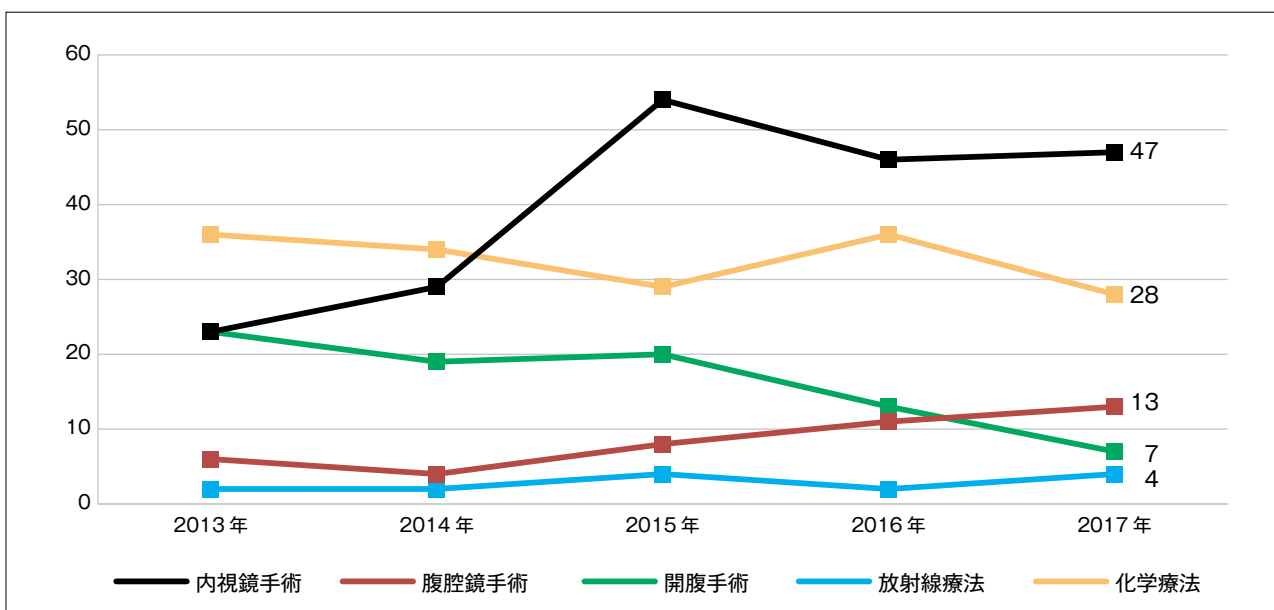
② 2017年症例治療前ステージ別割合



③ 胃内視鏡検査件数

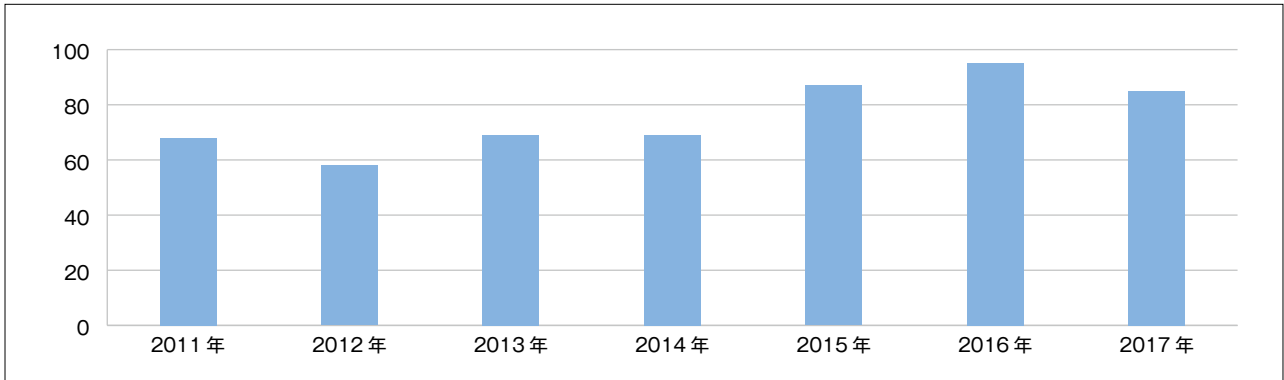


④ 治療件数 (重複含む)

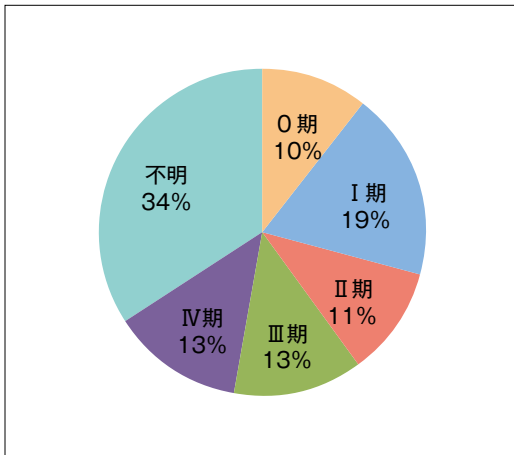


大腸がん治療

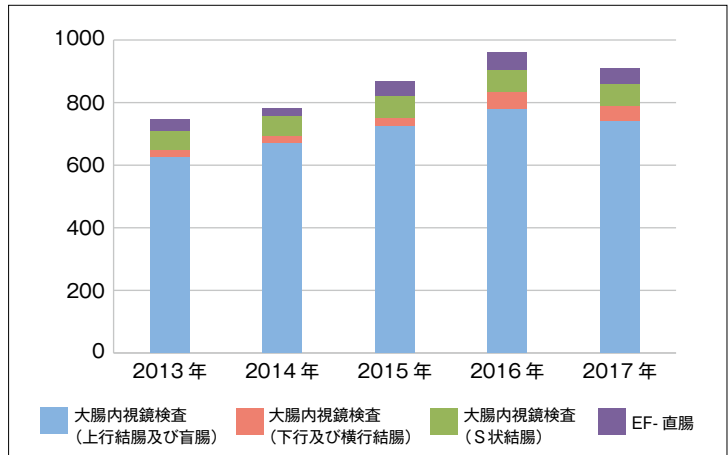
① 初回診断・治療件数



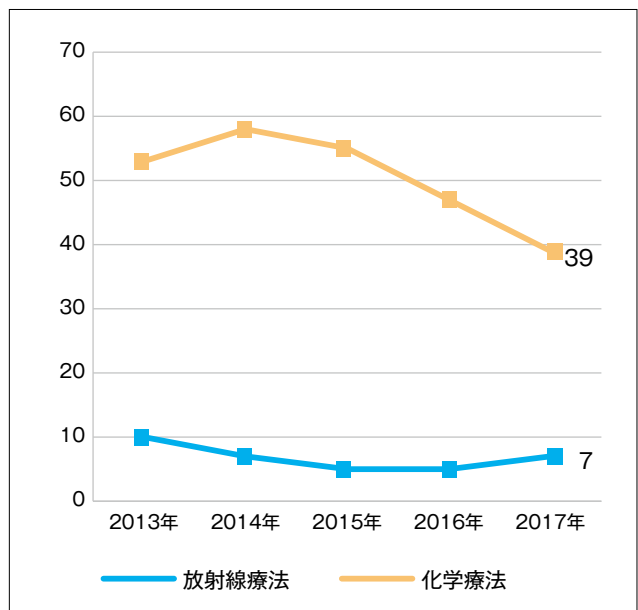
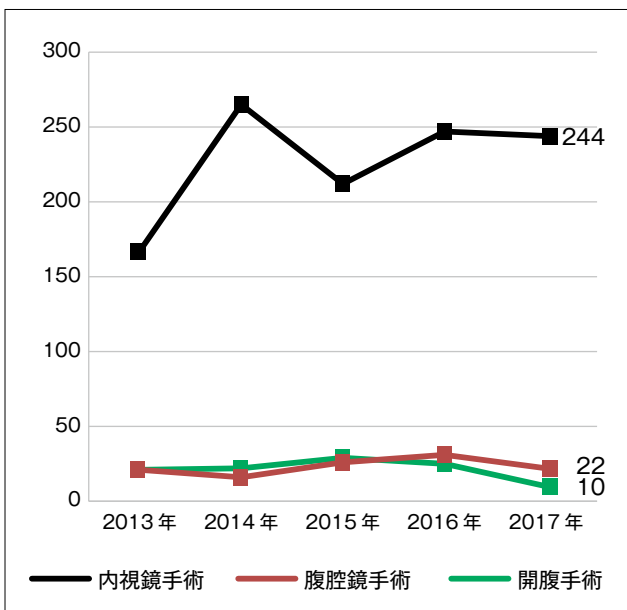
② 2017年症例治療前ステージ別割合



③ 大腸内視鏡検査件数

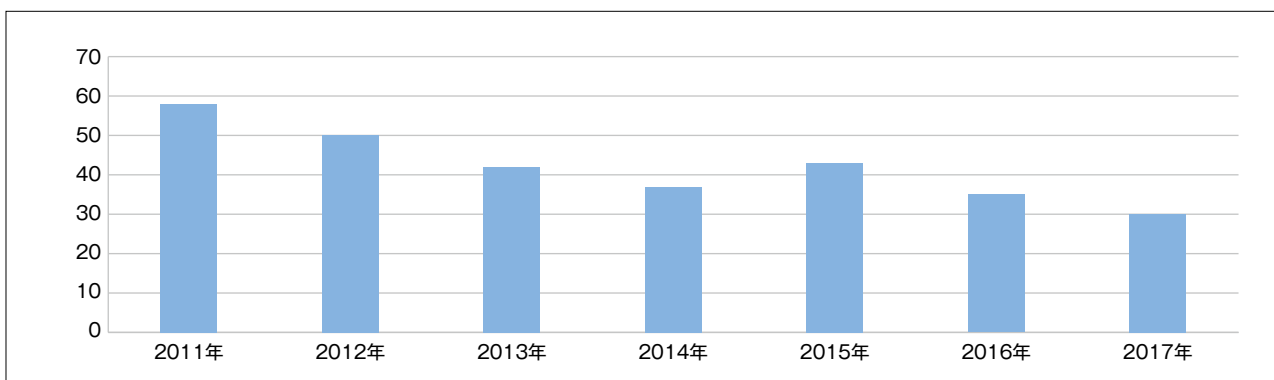


④ 治療件数 (重複含む)

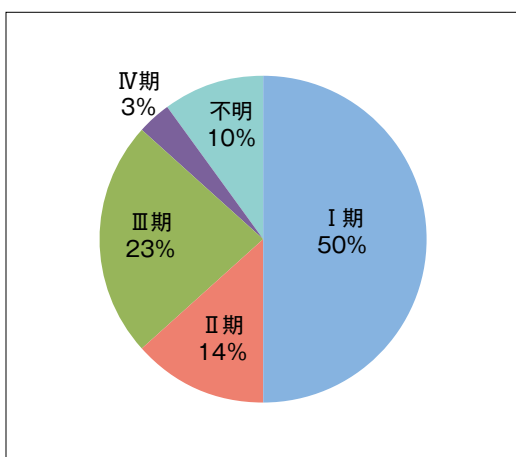


肝がん治療

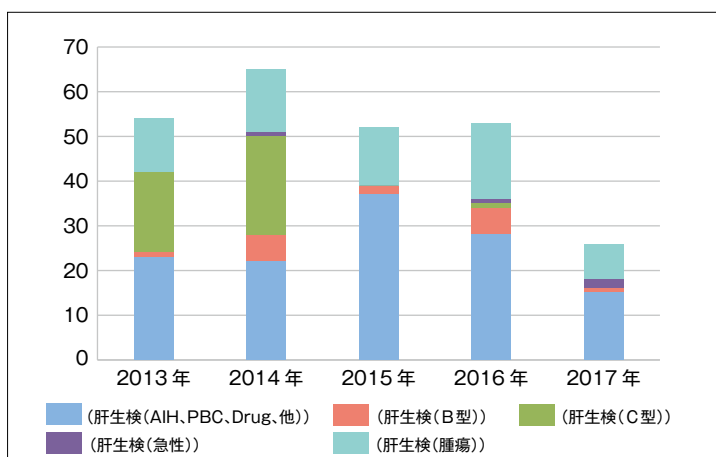
① 初回診断・治療件数



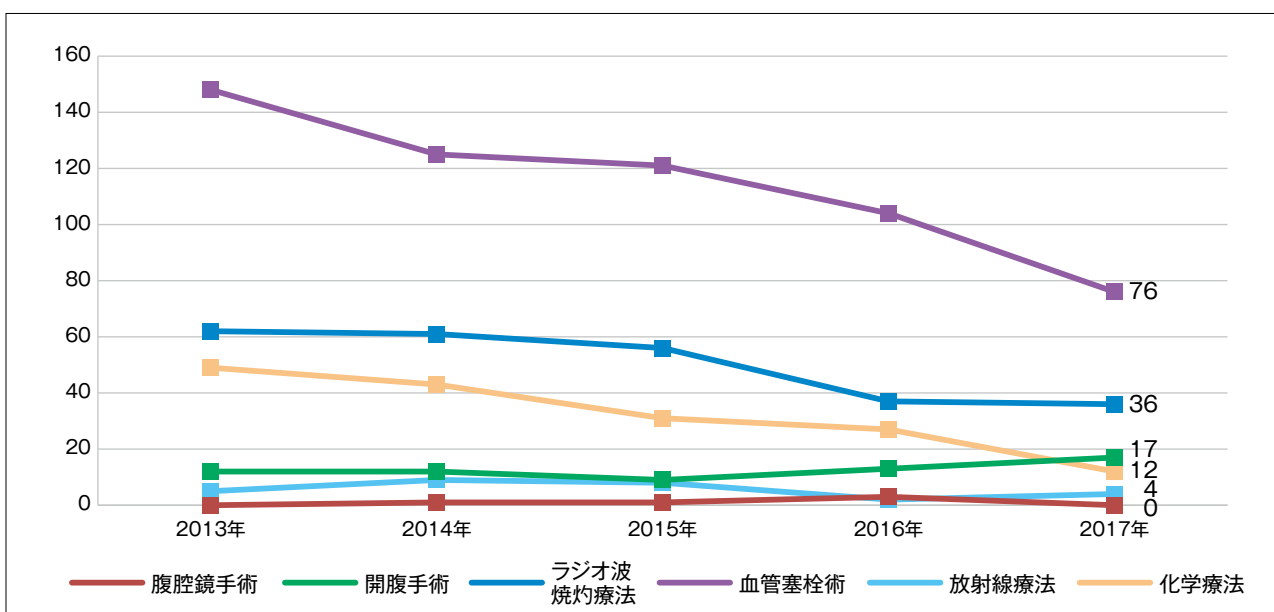
② 2017年症例治療前ステージ別割合



③ 肝生検件数

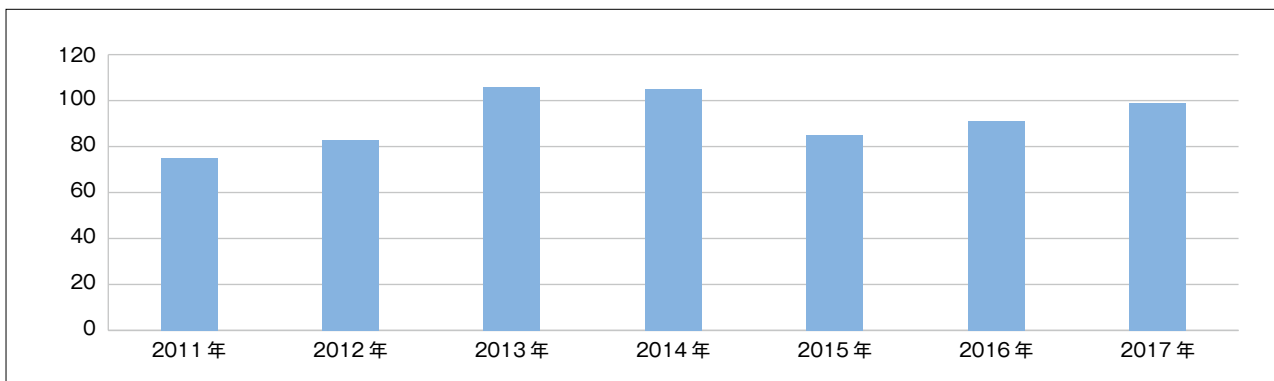


④ 治療件数 (重複含む)

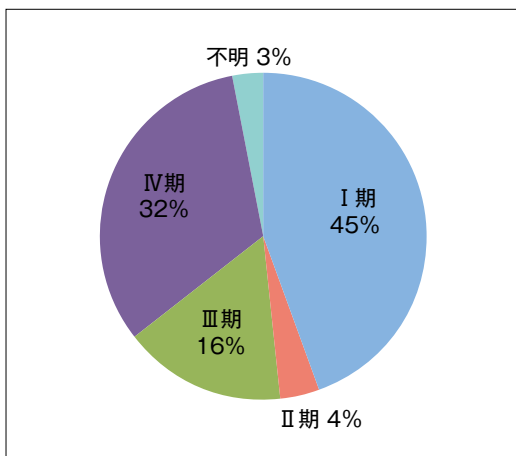


肺がん治療

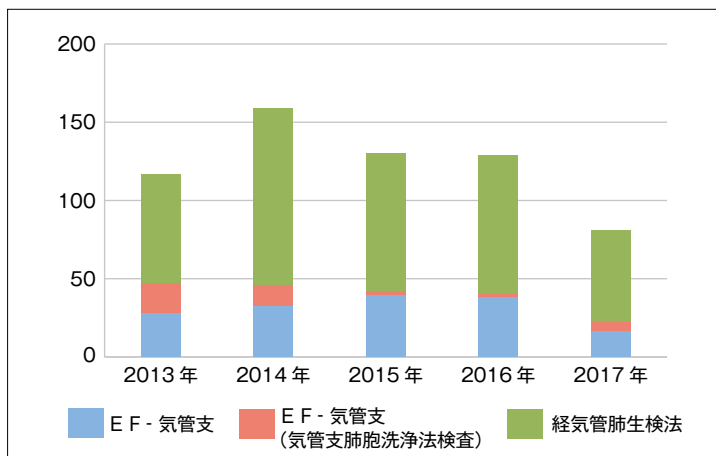
① 初回診断・治療件数



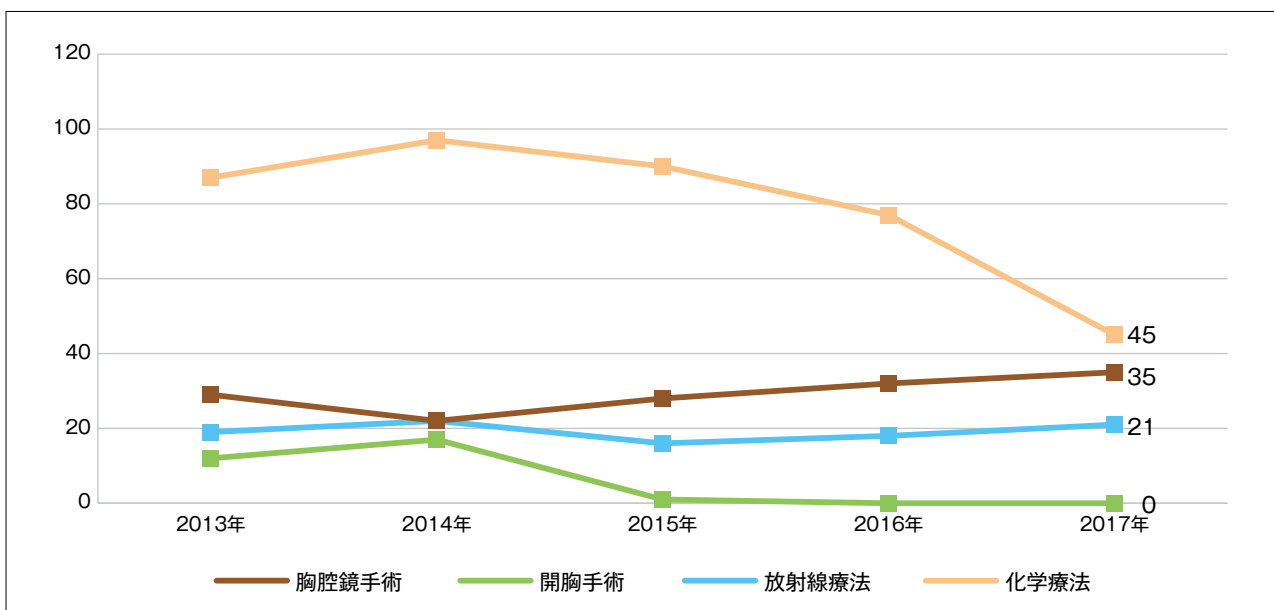
② 2017年症例治療前ステージ別割合



③ 気管支鏡検査・肺生検件数

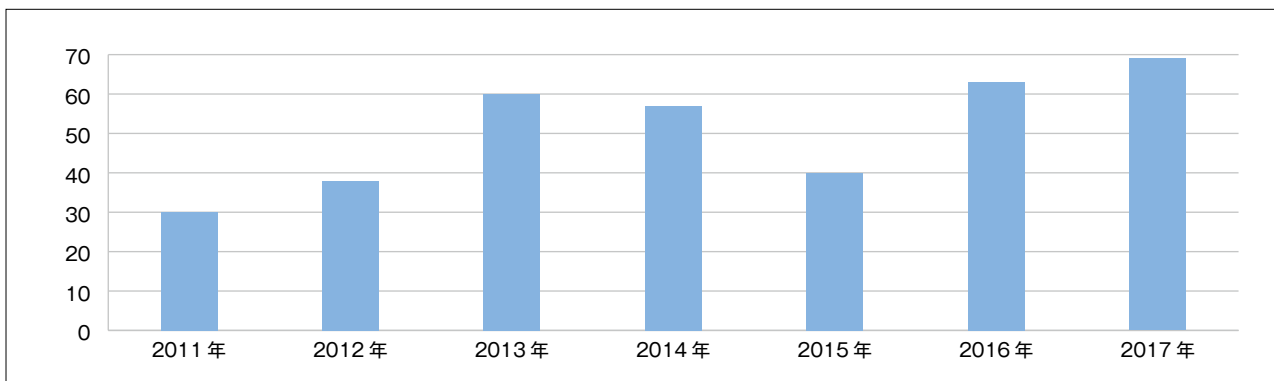


④ 治療件数 (重複含む)

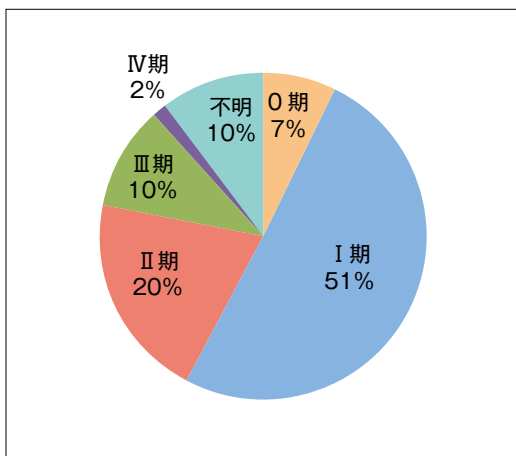


乳がん治療

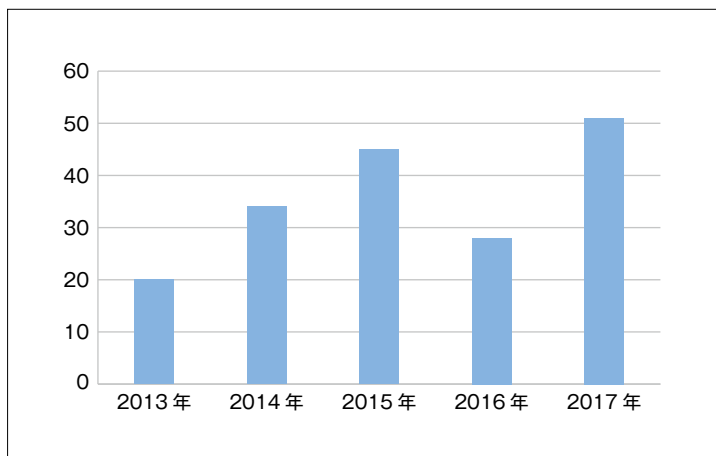
① 初回診断・治療件数



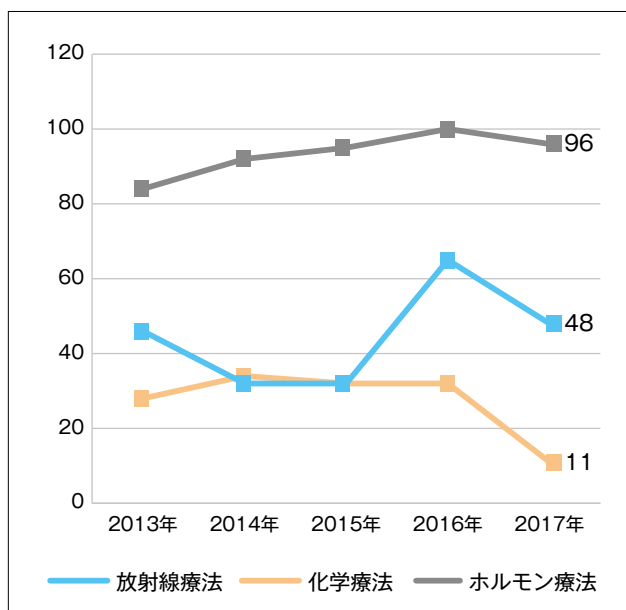
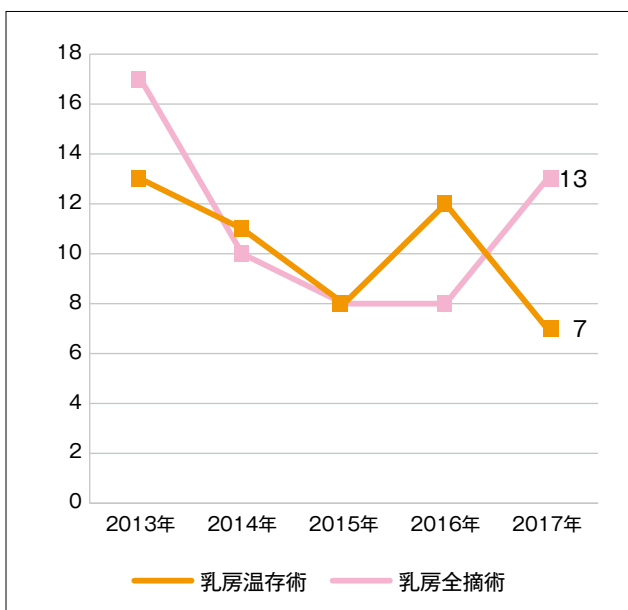
② 2017年症例治療前ステージ別割合



③ 乳腺穿刺又は針生検件数

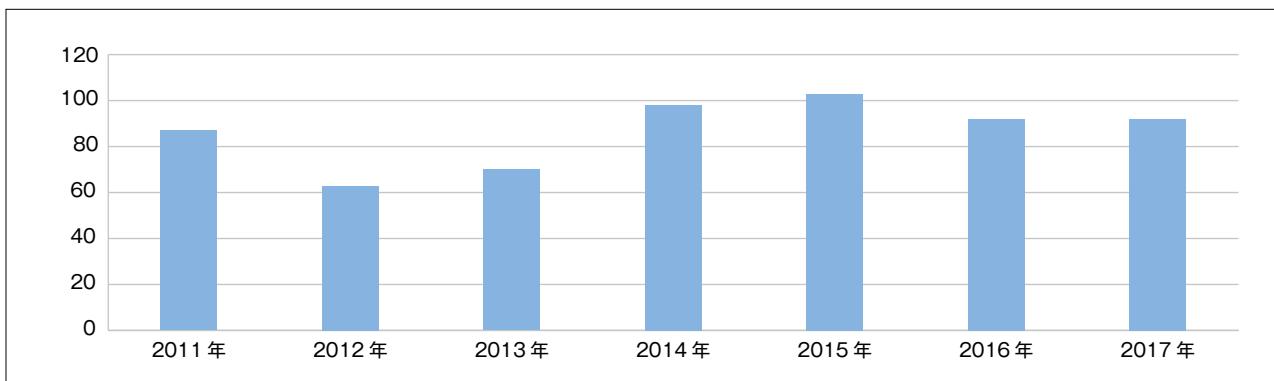


④ 治療件数（重複含む）

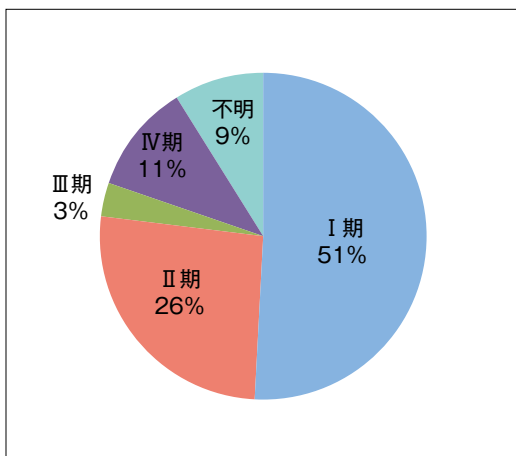


前立腺がん治療

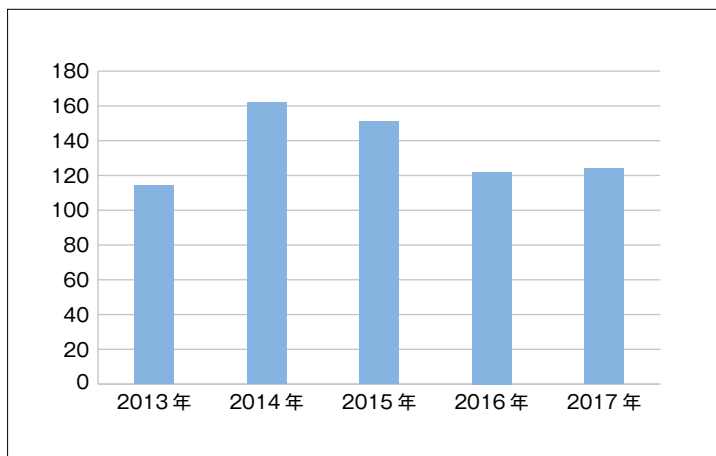
① 初回診断・治療件数



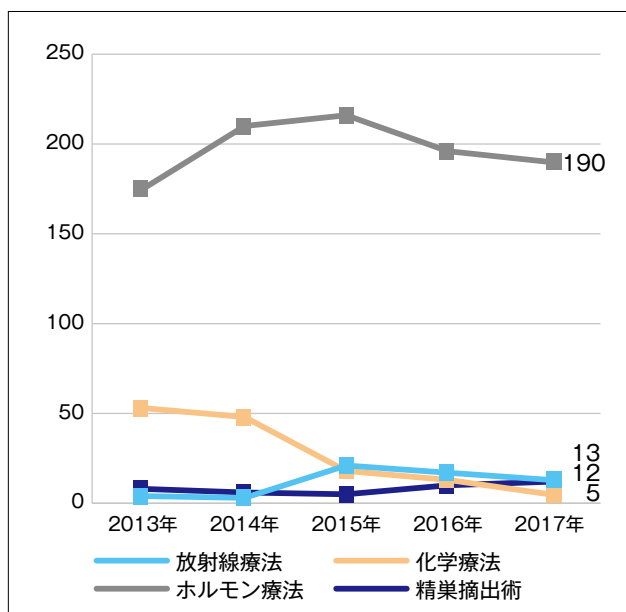
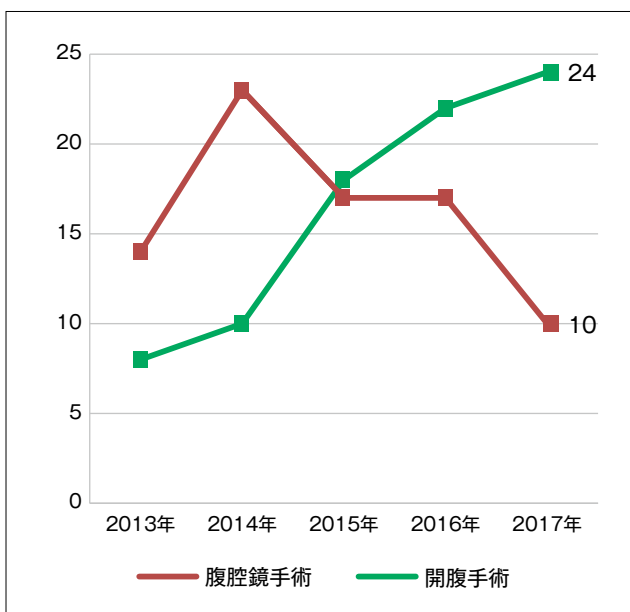
② 2017年症例治療前ステージ別割合



③ 前立腺生検件数



④ 治療件数（重複含む）



2

院内がん登録 2017 年症例報告



【登録・集計対象について】

大分医療センターでは、2011年10月より大分県がん診療連携協力病院の指定を受け、2011年症例から院内がん登録を実施しています。院内がん登録の情報は、2016年より開始された全国がん登録にも利用されています。

院内がん登録では、がんの診断内容、治療内容、予後に関する情報を登録しています。院内がん登録の適切な登録により、当院における受療状況、治療内容、予後情報などのがん診療を把握することができ、がん診療の質の向上に役立っています。

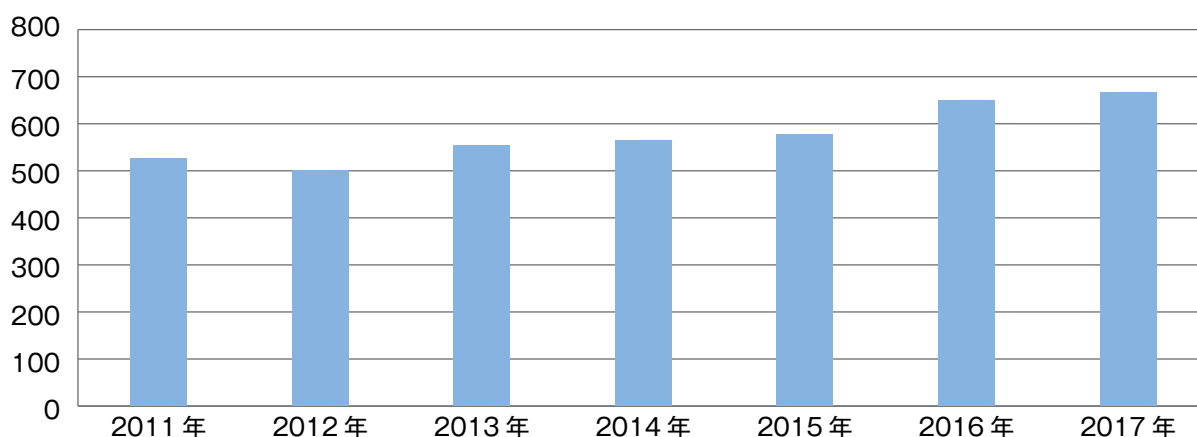
登録・集計対象は、当院でがんの診断・治療を受けた全ての患者さんを入院・外来問わず対象としています。そのため、積極的な治療を受けなかった患者さんやがんの診断のみで他院紹介となった患者さん、他院で治療後に受診した患者さんも含まれています。

なお、2011年から2015年症例までの院内がん登録は、厚生労働省健康局総務課長が定めた「標準登録様式」で登録を行い、2016年症例からは「がん登録等の推進に関する法律」に基づき登録を行っています。

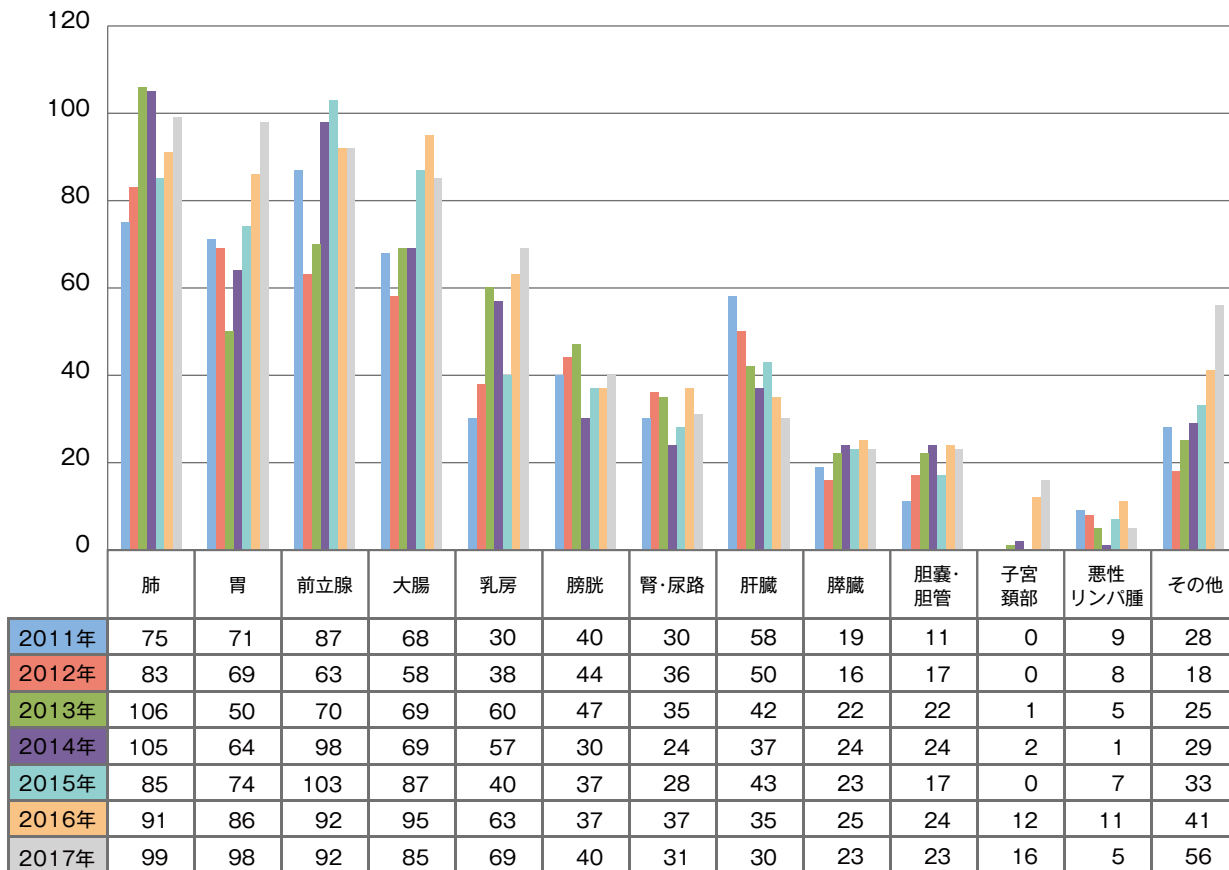
2017年症例の件数は667件となっています。

部位別件数を見ると例年肺と前立腺の件数が多く、近年では大腸、胃の件数も増加しています。また、2016年4月より婦人科が常勤医になり婦人科疾患が増えたことも全体の件数が増加した要因のひとつとなっています。

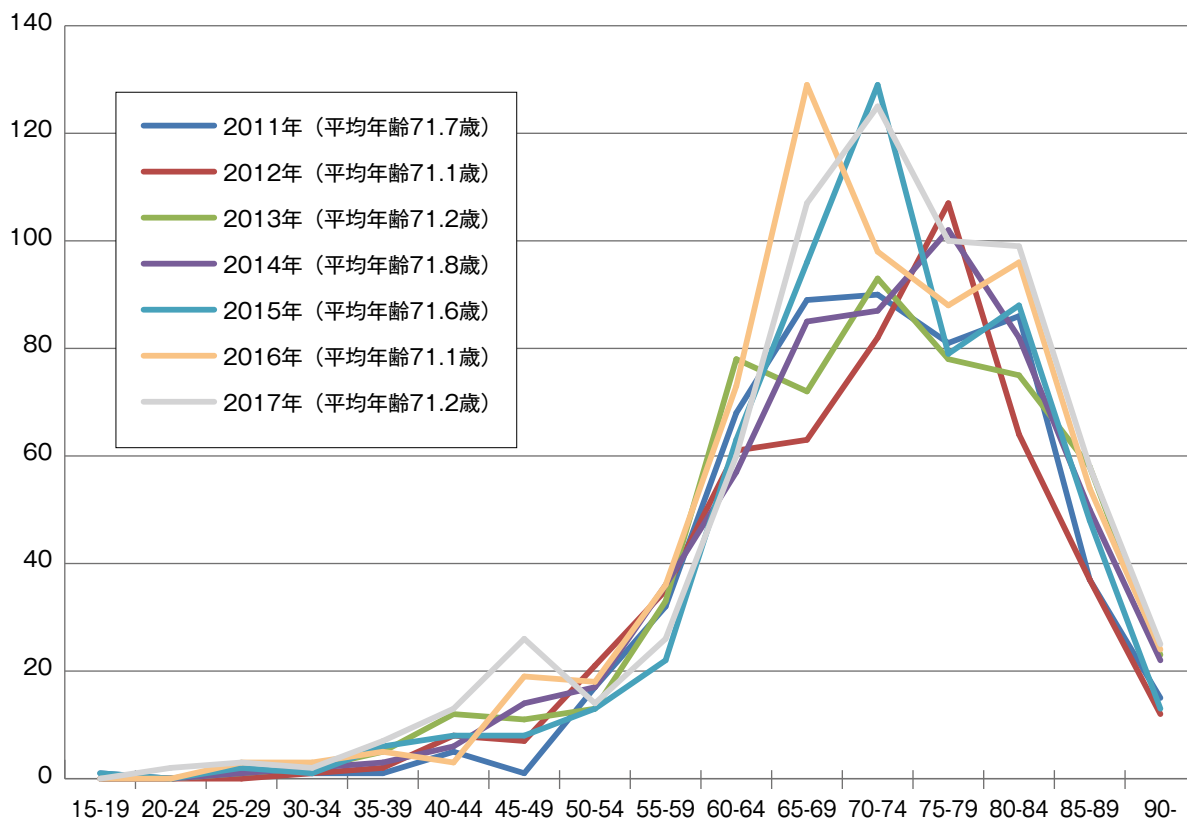
① 院内がん登録 登録件数



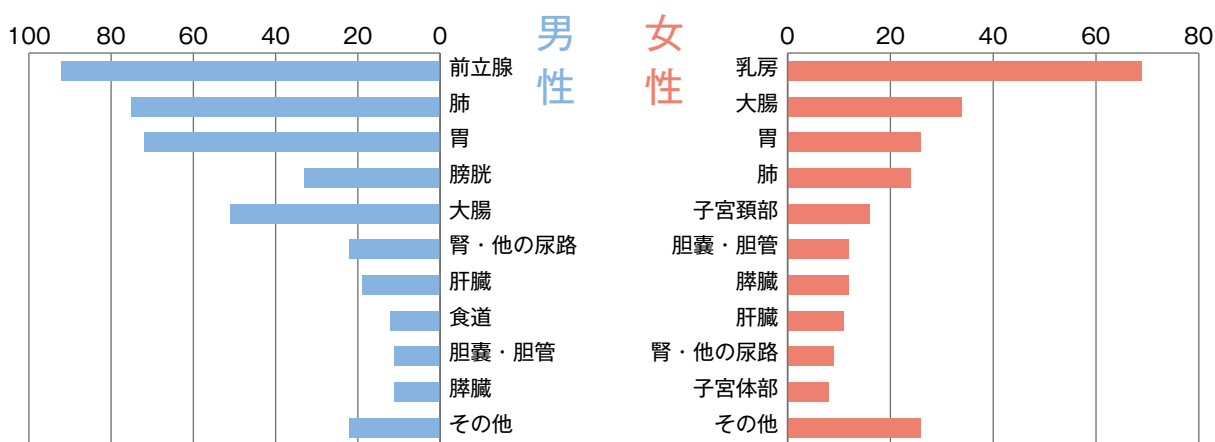
② 部位別件数



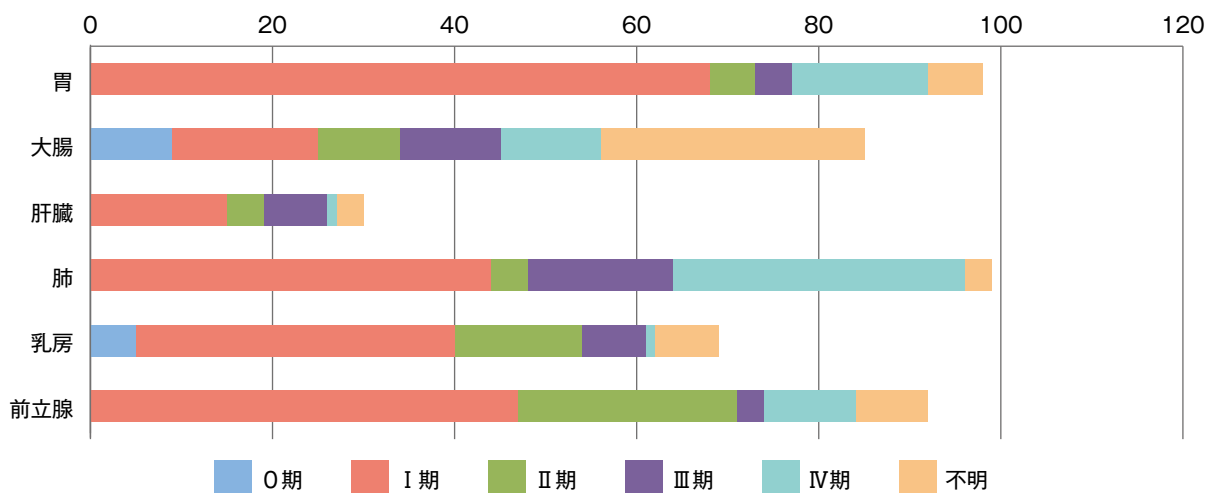
③ 年齢階層別件数



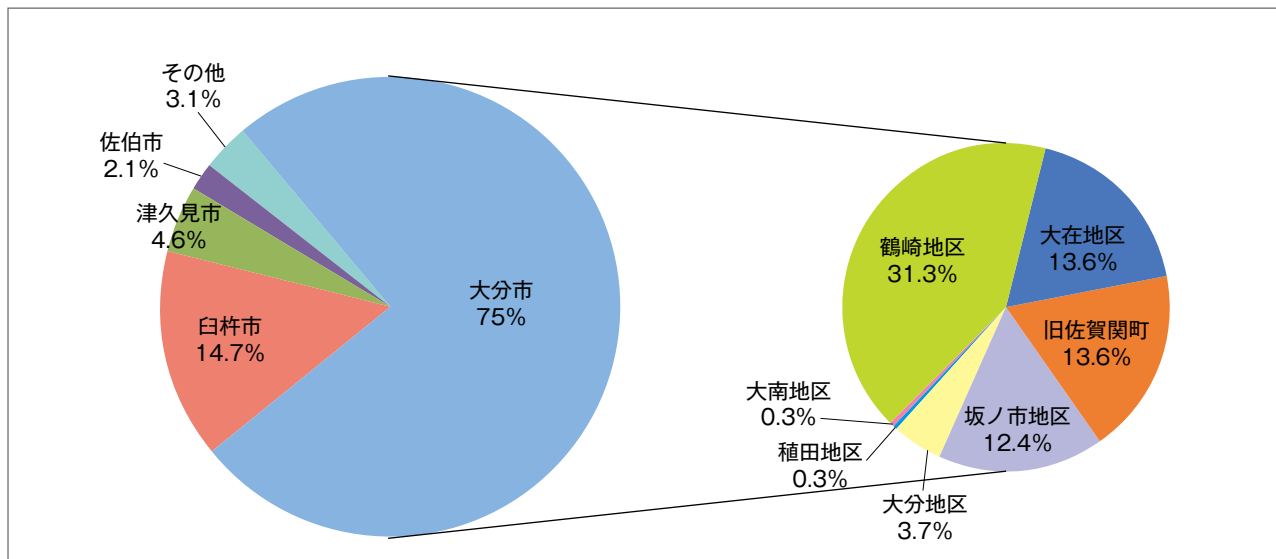
④ 性別件数



⑤ 主要5部位 + 前立腺 治療前ステージ別件数



⑥ 診断時住所



3

部門別活動報告



① 放射線治療部門

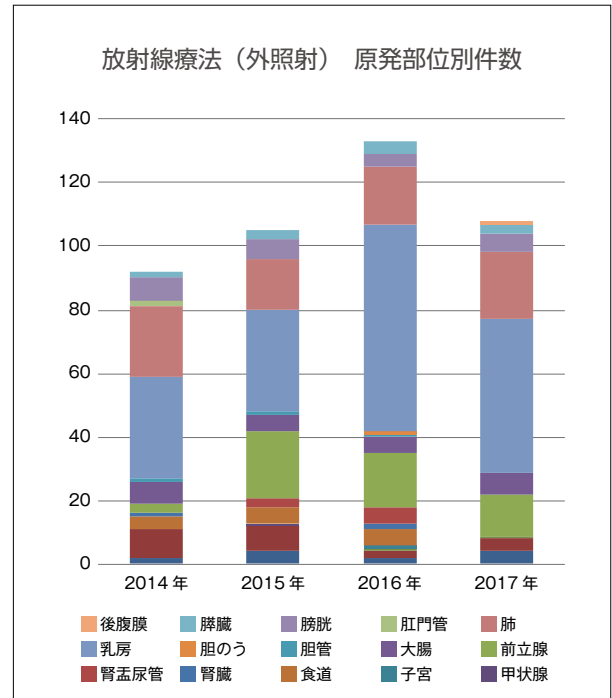
放射線治療（外照射）

放射線治療はがん治療の三本柱（手術療法、化学（薬物）療法、放射線療法）のひとつです。放射線を直接がん細胞に照射することで、がん細胞を死滅させます。放射線治療は手術療法・薬物療法などと併用されることが多いです。切除範囲を縮小したり、再発を防ぐために手術療法の前後に行われたり、抗がん剤に耐性を持ち始めたがん放射線照射が追加されたりします。また、鎮痛剤の効きの悪い骨の転移の痛みをとったり、神経を圧迫しているがんを縮小させて痛みや麻痺を軽減したりするのに用います。がんの種類によりますが、照射部位（臓器）の形態や機能の温存を目的として、放射線治療が単独で選択されることもあります。

治療の流れとしては、毎週火曜日に放射線治療計画を行っています。主治医から依頼された患者さんの放射線治療への適応を判断し、十分な説明の上、CT画像をもとに放射線の照射範囲・回数・強さなどを計画していきます。

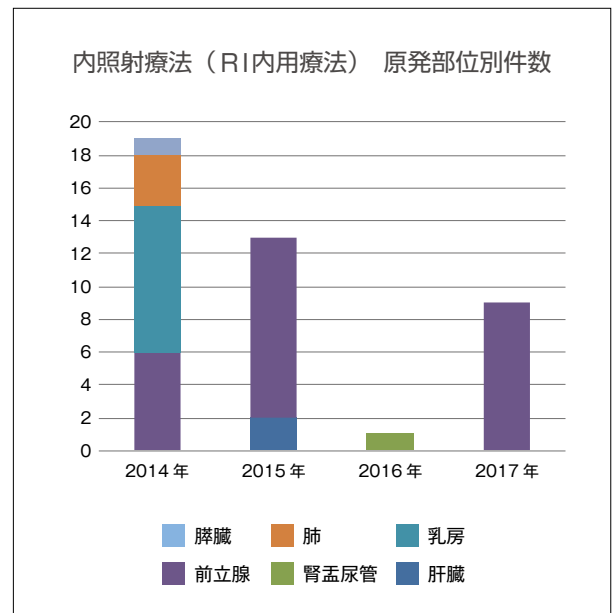
治療は通常毎日午後に行います。また、火曜日ごとに、検査データなどを元に、副作用の有無など、放射線治療の効果に対するお話を聞かせていただいています。

体力・病態によっては、外来通院でも放射線治療は可能です。



内照射療法（RI内用療法）

多発する骨転移に対して、鎮痛・増大抑制を目的として内用療法を行います。治療効果のある放射性同位元素（アイソトープ:RI）を注射で体内に投与すると、血流に乗り全身に広がり、骨病変に定着し放射線を放出します。鎮痛剤が効きにくい骨転移の痛みや、多発するため外照射療法を行いにくい場合に大変効果があります。平成29年4月よりゾーフィゴ（ラジウム-223）が採用されました。軽度の骨髄抑制が出現することもありますので、定期的な診察をさせていただきます。



治療装置

リニアアクセラレーター（放射線治療装置）

当院では全身・各部位の外照射治療を行っています。テーブルの上で短時間（10分程度）じっとできる人であれば、外照射治療を受けることが可能です。高エネルギーのX線や電子線を病変部に当てる治療で、痛みもなく、体力の消耗も少なく、外来通院でもできる優しい治療です。

当院では県内でも有数の最新放射線治療装置を有しており、簡易CTを併用することで、腫瘍の形態に合わせミリ単位の正確な放射線治療が実施できます。



多目的CT室（IVR-CT装置）

近年、低侵襲治療（体を傷つけることの少ない血管内治療：IVR）が発達してきました。IVRは、血管をたどって病変部にたどり着き、血液を遮断したり、抗がん剤を投与したりするカテーテル治療を行います。この治療の侵襲はカテーテルを挿入するため5mmほど皮膚を切開することだけです。当院の装置は血管造影装置にCT装置を併せ持っており、病変に、薬が正確に投与されたかどうかを評価しながら治療を行います。また、体の外から小さな針で病気のサンプルを抽出する「生検」や感染巣から膿を排出する「ドレナージ」の際には、重要臓器を損傷しないように、CT画像と超音波画像を同期させリアルタイムに参照しながら、処置・治療を行います。このような血管造影装置と専用CT装置を併せ持つIVR-CT治療室は県内でも3カ所、大分市内には当院のみにしかありません。



乳がん画像診断

乳房撮影装置

生活の欧米化に伴い、日本でも、乳がんの罹患率が上昇してきました。乳房撮影装置は乳房の撮影に特化したX線撮影装置です。マンモグラフィーとも呼ばれます。当院の装置は「位相コントラスト」と呼ばれる技術を用い、通常の装置よりもさらに細かいところまで描出できます。

当院では、撮影に女性放射線技師を配し、乳房撮影を行っています。



自動乳房超音波装置（ABUS）

乳房専用の3D超音波診断装置です。検査は乳房の上に検出器を載せるだけの簡単な検査です。結果は動画として収集され、専門の医師ほか複数人で読影を行っています。マンモグラフィーではわからない、高密度乳腺の中に潜む病変を見つけ出すことができます。当院では、撮影に放射線技師と臨床検査技師の2名以上の女性技師を配し、ABUSを行っています。



精密超音波装置

ABUS以外にも、もちろん通常の超音波検査も行っております。放射線科では他科から依頼で、乳房のみならず、頭頸部・腹部・動脈・静脈などの精密超音波検査を、放射線科医が実施しています。

※放射線治療や検査をご希望の場合は、かかりつけの医師に相談されるか、
当院の地域医療連携室あるいは放射線科へご連絡ください。

② 化学療法センター

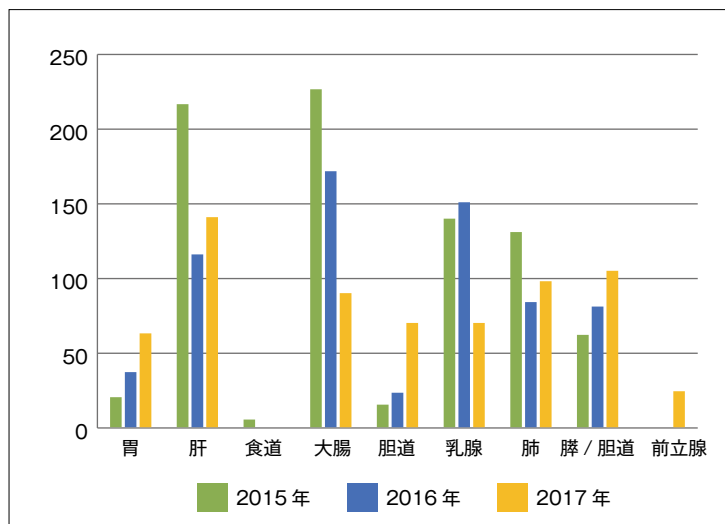
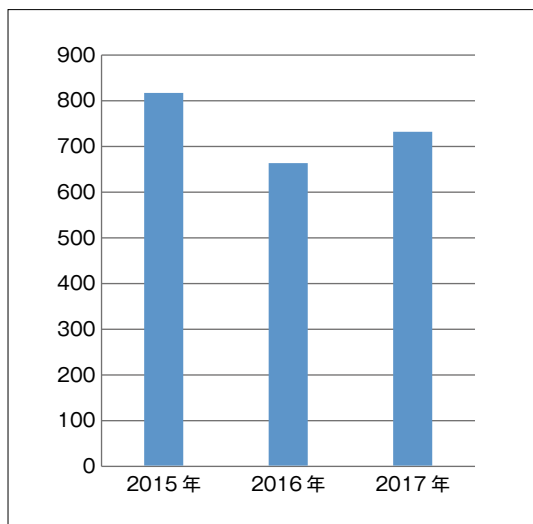
化学療法センターは、通院しながらがん薬物治療を行う患者さんが対象です。

がんと共に生きる患者さんにとって化学療法を継続することは大変です。対話を続けながら患者さんやご家族の希望を見出すことができたかと考え、日々、患者さんと共に治療に向き合い、一緒に考える姿勢を大事にしています。治療センター内では、リクライニングベットや無料テレビ、その他病気に関する情報提供を行う本やリーフレットを置き、患者さんがリラックスして治療が行えるよう工夫しています。

1) スタッフ

化学療法センター長	田原 光一郎
がん化学療法看護認定看護師	高橋 知子
化学療法センター看護師	上野 早百合 (専従)・洞ノ上 愛子
がん薬物療法認定薬剤師	下村 真代

2) 外来化学療法件数 (2015~2017年) 3) がん種別件数 (2015~2017年)



治療薬の作用・副作用を踏まえ
日々学習し投与の安全を十分に
把握し確実な投与管理を行います。

化学療法センタースタッフと共に副作用
症状のケアと対処法を考えます。

生活の中での困りごとや治療選択に
おける相談を受け、アドバイスを
行います。



③ がん化学療法薬剤部

薬剤部では抗がん剤は安全キャビネットを用い、環境への曝露を最小限に抑え、無菌的に調製を行っています。また抗がん剤調製支援システムを導入しており、調製手順の解析、薬剤量の換算も自動で行われています。

調製者は音声ガイドと画面表示で手順を確認しながら、調製を行っていきます。調製に用いる薬剤はバーコード認証、重量測定を行うことで、確実な調製を行うことができます。鑑査の際は測定結果を参照し、間違いがないことを他の薬剤師が確認します。



外来 化学療法調製件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2015	81	59	71	68	69	71	74	63	60	79	67	56	818
2016	65	61	74	63	61	60	53	58	49	37	45	38	664
2017	46	48	59	46	62	62	59	59	59	65	79	78	722

入院 化学療法調製件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2015	67	67	57	60	53	51	61	43	58	44	29	33	623
2016	56	53	51	47	45	65	38	53	46	53	57	54	618
2017	62	81	67	76	79	56	45	56	68	53	51	41	735

当院で使用される注射抗がん剤は全てレジメン審査委員会により審査されたのち登録したものを使用しています。現在165レジメンが登録されており、登録されたレジメンの内容は大分医療センターホームページ内にも公開しており、誰でも参照することが可能です。

近年、新たながん治療として免疫療法が注目されていますが、当院でも肺がんをはじめ、胃がん、腎がんのレジメンが登録され、投与を行っています。免疫療法の副作用は多岐にわたることで知られていますが、免疫療法用の同意書、検査セットを使用し、副作用のマネジメントに努めています。

免疫療法 施行件数 (2017年1月～12月)

肺がん	ニボルマブ	41件
肺がん	ペムブロリズマブ	7件
胃がん	ニボルマブ	9件

④ 緩和ケアチーム活動

1) 緩和ケアチームとは

緩和ケアチームは、病気に伴う心と体の痛みを和らげ、希望する生活が送れることを支援するチームです。患者さん・ご家族が抱える問題は様々であるため、チームは多職種で構成されています。

当センターでは、患者さんにご家族に対して主に主治医、看護師により緩和ケアは提供されますが、抱えている問題によって緩和ケアチームが協働し、問題解決に努め希望する生活が送れるよう支援する体制を整えています。チーム構成は以下の通りです。

【当センターの緩和ケアチーム構成】

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1. チームリーダー（呼吸器外科） | 7. リンクナース 6名 |
| 2. リンクドクター 4名
（外科、泌尿器科、消化器内科、呼吸器内科） | （がん放射線療法看護認定看護師1名、緩和ケア認定看護師1名） |
| 3. 副看護部長 | 8. 理学療法士 |
| 4. 病棟師長 | 9. 栄養士 |
| 5. 外来副師長（がん化学療法看護認定看護師） | 10. 薬剤師 |
| 6. チーム専従看護師（がん性疼痛看護認定看護師） | 11. 医療社会事業専門職 |
| | 12. 事務職 |



2) チームの活動（2017年度）

(1) 緩和ケアチームによる病棟回診と症例検討会

患者さん・ご家族に最善の治療・ケアが提供できるよう、週1回評価ツールを用いて、患者さん・ご家族の抱える問題や治療・ケア・社会生活に対する希望など情報共有し、体と心の安楽及び希望の実現に向けた治療・ケアを検討します。

(2) 緩和ケアに関する知識・技術の普及

院内外の医療スタッフの緩和ケアの知識・技術の普及を目的としたセミナーの企画や緩和ケアが安全・適正に提供されるようマニュアルの整備を行っています。

①大分東部緩和ケアセミナーの実施状況

研修月	研修テーマ	講師	参加人数		
			院内	院外	合計
5月 (第31回)	1) 緩和ケアチームの取り組みについて 2) 鎮痛補助薬について	1) がん性疼痛看護認定看護師 廣田 紘子 2) 薬剤師 藪 千亜紀	38	13	51
9月 (第32回)	1) 放射線治療看護の基礎知識とケア 2) やさしい放射線治療	1) がん放射線療法看護認定看護師 佐藤 晶子 2) 九州大学病院別府病院 放射線科 助教 松本 圭司	33	13	46
11月 (第33回)	患者の意思を尊重した人生の最終段階における支援について～アメリカの実践者の立場から～	United Healthcare Group LSM Medical Care Manager Hiroko Kobira	24	18	42
3月 (第34回)	1) 看取りの段階における家族ケアについて ～壮年期がん患者の1症例を通して考える～ 2) 緩和ケアにおける社会的苦痛のケアについて ～緩和ケアチームの一員として実践して～	1) がん性疼痛看護認定看護師 廣田 紘子 2) 医療社会事業専門員 岡江 晃児	28	36	64

②緩和ケア研修会

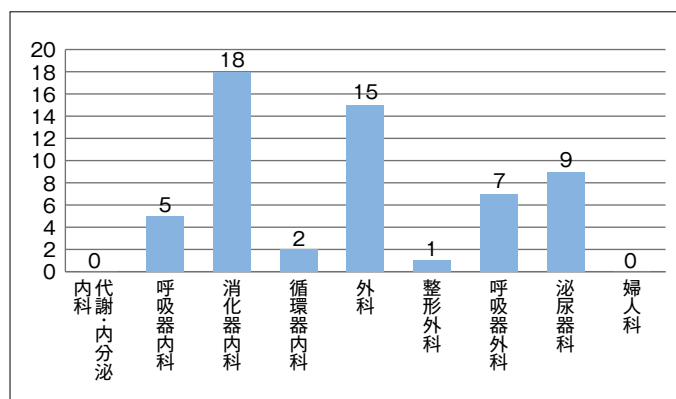
研修月日	参加人数			
	医師	看護師	薬剤師	合計
2017.7.15～16	12名	7名	1名	20名

(3) その他

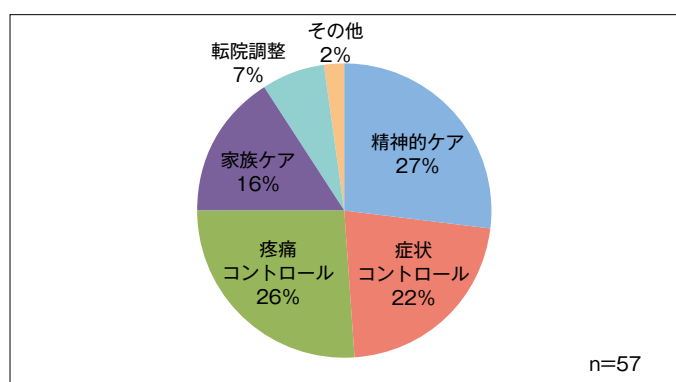
- ① 2017.6.23～24 第22回日本緩和医療学会学術大会 横浜
- ② 2017.6.29 第1回緩和ケア実務者による情報交換会
- ③ 2017.11.3～4 リレー・フォー・ライフ大分
- ④ 2017.11.11 第1回大分県緩和ケアチーム研修会

3) 緩和ケアチーム介入状況

【2017年度 診療科別介入患者数（総数 57件）】



【2017年度 緩和ケアチーム依頼理由（重複あり）】



依頼理由	件数
症状コントロール	40
精神的ケア	33
疼痛コントロール	39
家族ケア	23
転院調整	10
その他	3

4) がん患者指導管理料

平成26年よりがん患者さんとそのご家族に対する治療・ケアの充実を目的に、がんと診断され継続的な支援を必要とする患者・家族に対して、専門的な知識・技術をもった医療スタッフ（がん化学療法看護CN、がん放射線療法看護CN、がん性疼痛看護CN、がん薬物療法認定薬剤師）が迅速に介入し、最善のチーム医療が提供できるよう体制を整えています。

【2017年度 がん患者指導管理料加算算定件数】

	指導料Ⅰ	指導料Ⅱ	指導料Ⅲ
件数	88	151	184

⑤ がん患者リハビリテーション

当院では5大がん（胃・肺・肝臓・膵臓・乳がん）を中心とした治療に積極的に取り組んでおります。リハビリテーションにおいては周術期リハビリテーション、化学療法・放射線治療中のリハビリテーション、緩和リハビリテーション等、患者さんの治療・要望に合わせたリハビリテーションを展開しています。

周術期リハビリテーション

理学療法

術前より呼吸訓練や筋力訓練を実施し、術後は早期離床を図ることにより術後合併症の予防に取り組んでいます。

作業療法

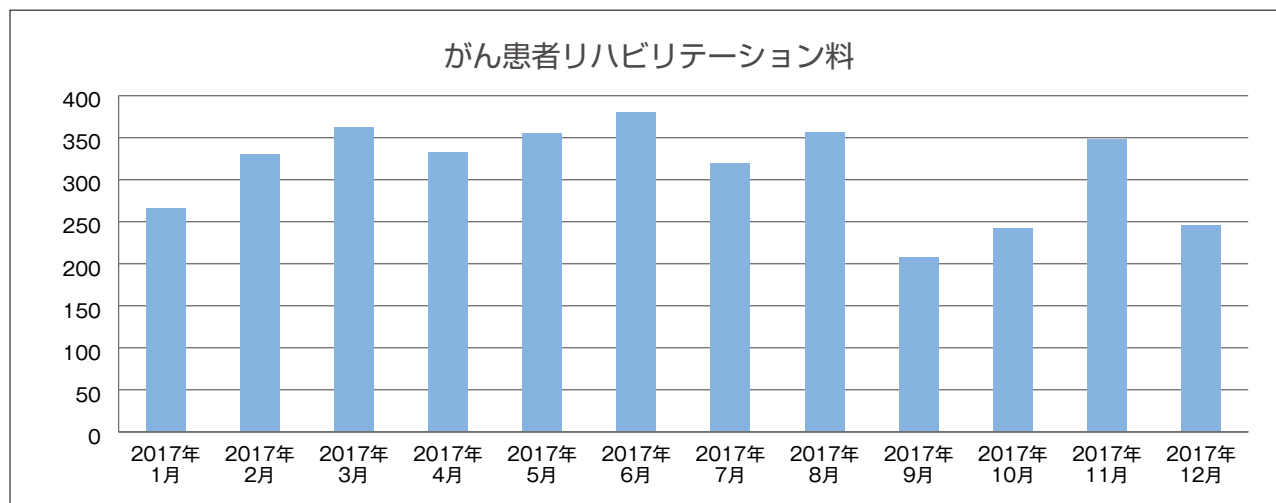
患者さんの状態にあわせた ADL 訓練を取り入れ在宅復帰に不安がないよう支援していきます。

化学療法・放射線治療中のリハビリテーション

抗がん剤や放射線治療中は倦怠感の出現や体力低下等を来します。適切で適度な運動を行うことでこれらの副作用の軽減が期待できます。当院では治療開始早期からリハビリテーションを取り入れ ADL、QOL 維持に努めています。

緩和リハビリテーション

当院の緩和ケアチームと連携し痛みや呼吸困難感に対して緩和的リハビリテーションを提供しています。



がん患者リハビリテーション研修者（2018年10月現在）

職種	氏名
医師	穴井 秀明
医師	栴島 章
医師	梅田 健二
看護師	加来 美里
看護師	佐藤 千秋
理学療法士	富永 了
理学療法士	山下 真由子

職種	氏名
理学療法士	溝口 智紀
理学療法士	甲斐 均
理学療法士	今村 健二
作業療法士	大黒 陽蔵
作業療法士	貞方 真也
作業療法士	有岡 光太郎
言語聴覚士	安部 遥志

⑥ がん相談支援センター、がんサロン、がん川柳

がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、がん専門相談としての研修を受けたスタッフ（看護師、医療ソーシャルワーカー）が、信頼出来る情報に基づいてがん治療の療養生活全般の相談をお受けしております。またがんサロンやがん川柳等の活動を通じて、がん患者さんのケアやがん啓発を行っています。

相談業務

早期発見などに関する一般的な情報の提供、セカンドオピニオンについて、がん患者さんの療養上の相談、がん患者支援団体の情報の提供。

その他業務

がんサロンの運営、がん川柳等の啓発活動、大分県がん相談支援センター情報交換会に参加。

がんサロン

がんサロンは、がん患者さんやそのご家族など、同じ立場の人達が集い、気軽に語らう為の交流の場として開催しています。

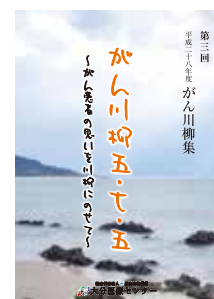
開催日	テーマ	講師	参加人数
平成 29 年 1 月 10 日 (第 30 回)	頭皮ケア	Lecture 代表 狩生 志保	10 名
平成 29 年 3 月 14 日 (第 31 回)	緩和ケア病棟のおはなし	大分ゆふみ病院 医療ソーシャルワーカー 大澤 理恵	15 名
平成 29 年 5 月 2 日 (第 32 回)	1. 患者交流会 2. 癒しのミニコンサート	ライフアンサンブル大分	20 名
平成 29 年 7 月 11 日 (第 33 回)	1. 知っておきたい抗がん剤情報 2. がん患者さんとご家族の語らい	大分医療センター がん化学療法看護認定看護師 高橋 知子	12 名
平成 29 年 9 月 12 日 (第 34 回)	アロマセラピーで癒しの時間を	佐伯中央病院 緩和ケア病棟看護師 山下 典子	10 名
平成 29 年 11 月 29 日 (第 35 回)	1. がん患者さんとご家族の語らい 2. がん川柳表彰式		5 名

がん川柳

がん川柳は、がん患者さんやがん患者さんを支えている家族・知人・支援者が、がんに関わるエピソードや日頃の思いを川柳にのせて、感情表出を行い心のケアを行うことや、がん川柳の思いを地域・社会へ発信し、がん患者さん等の思いを共有することを目的に開催しています。

○平成 29 年 3 月 31 日 がん川柳冊子発刊
「第 3 回 がん川柳五・七・五～がん患者の思いを川柳にのせて～」

○がんチャリティーイベント（リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分 2017）に参加し、当院企画テントとして展示や配布。



第3回 がん川柳五・七・五

⑦ 市民公開講座

第5回大分医療センター市民セミナー

主 催：大分医療センター

共 催：一般社団法人 大分東医師会

日 時：平成 29 年 6 月 10 日（土）14：00～16：00

会 場：大分医療センター地域医療連携センター大会議室

テーマ：がんについてもっと知ろう！



■講演 座長 副院長 奈須 伸吉

1. 『当院におけるがん診療について』

院長 穴井 秀明

2. 『当院における緩和ケアの取組について』

がん性疼痛看護認定看護師 廣田 絃子

3. 『胃がんについて』

三宅胃腸科内科クリニック（大分東医師会）

院長 三宅 徹



■健康チェック

①血圧 ②身長・体重測定 ③肺年齢測定

④乳がん触診模型体験

■健康相談



■ミニコンサート

フルートデュオ 小野 未希、橋本 真紀

4

当院で治療を行っているがんの種類



○：対応可 ×：対応不可

		診 療	セカンド オピニオン
頭部・頸部	脳腫瘍	×	×
	脊髄腫瘍	×	×
	目のがん	×	×
	口腔がん・咽頭がん・鼻のがん	×	×
	喉頭がん	×	×
	甲状腺がん	×	×
消化器がん	食道がん	○	○
	胃がん	○	○
	十二指腸がん・小腸がん	○	○
	大腸がん	○	○
	GIST	○	○
肝臓 / 胆道 / 膵臓	肝がん	○	○
	胆管がん・胆のうがん	○	○
	膵がん	○	○
胸部・乳房	肺がん	○	○
	乳がん	○	○
	縦隔腫瘍（胸腺がんなど）	○	○
	中皮腫	○	○
泌尿器	腎がん	○	○
	腎盂がん・尿管がんなど	○	○
	膀胱がん	○	○
	副腎腫瘍	○	○
男性特有のがん	前立腺がん	○	○
	精巣がん	○	○
	その他の男性生殖がん（陰茎がんなど）	○	○
女性特有のがん	子宮頸がん・子宮体がん	○	○
	卵巣がん	○	○
	その他の女性のがん （陰がん・外陰がんなど）	○	○
皮膚 / 骨と軟部腫瘍 / 血液・リンパ	皮膚のがん	×	×
	骨と軟部腫瘍（筋肉や脂肪など）のがん	×	×
	血液・リンパのがん	×	×
その他	後腹膜・腹膜腫瘍	○	○
	性腺外胚細胞腫瘍	×	×
	原発不明がん	×	×
小児	小児脳腫瘍	×	×
	小児の目のがん	×	×
	小児の骨と軟部組織のがん	×	×
	他の小児の固形腫瘍（神経芽腫など）	×	×
	小児の血液・リンパのがん	×	×

※セカンドオピニオンの申し込み窓口は地域医療連携室（097-593-1112（直通））になります。
詳しくはホームページをご覧ください。

5

がん関連資格取得者（2018年12月現在）



【診療部門】

▼ 外科

職名	氏名	取得資格・認定
院長	穴井 秀明	日本外科学会外科認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本乳癌学会認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
部長 (肝胆膵)	田原 光一郎	日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医 日本外科学会外科認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
臨床研究部長 (消化管)	椛島 章	日本外科学会外科専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医長	梅田 健二	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医長	河野 浩幸	日本外科学会外科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本食道学会食道科認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医
医師	渡邊 公紀	日本外科学会外科専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

▼ 呼吸器内科

職名	氏名	取得資格・認定
部長	一宮 朋来	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器専門医
医長	中野 哲治	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器専門医

▼ 消化器内科

職名	氏名	取得資格・認定
名誉院長	室 豊吉	日本内科学会認定医・指導医 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
部長	山下 勉	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本内科学会総合内科専門医
医長	豊田 亮	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
医師	大塚 雄一郎	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本消化器内視鏡学会内視鏡指導医認定内科医
医師	水内 梨絵	日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本内科学会認定内科医

▼ 呼吸器外科

職名	氏名	取得資格・認定
部長	高祖 英典	呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医 日本外科学会認定外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

▼ 泌尿器科

職名	氏名	取得資格・認定
副院長	奈須 伸吉	日本泌尿器科学会泌尿器科医 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
部長	住野 泰弘	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本排尿機能学会認定医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
医長	甲斐 友喜	日本泌尿器科学会認定専門医 日本泌尿器科学会指導医

▼ 婦人科

職名	氏名	取得資格・認定
部長	岡田 さおり	産婦人科学会産婦人科専門医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医 日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医 日本産婦人科乳腺医学会乳房疾患認定医

▼ 放射線科

職名	氏名	取得資格・認定
統括診療部長 (産業医)	中村 雄介	日本インターベンショナルラジオロジー学会 (IVR) 専門医 日本医学放射線学会放射線科専門医

▼ 病理診断科

職名	氏名	取得資格・認定
研究検査部長	森内 昭	日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本臨床検査医学会臨床検査専門医 日本臨床検査医学会臨床検査管理医 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本病理学会認定病理医

【コメディカル】

▼ 放射線部門

氏名	取得資格・認定
出水 健教	放射線治療専門放射線技師 放射線治療品質管理士
浦川 里佳	検診マンモグラフィ認定技師
森 康哲	放射線治療専門放射線技師 放射線治療品質管理士
宮本 真衣	検診マンモグラフィ認定技師

▼ 薬剤部

氏名	取得資格・認定
下村 真代	がん薬物療法認定薬剤師

▼ 看護部

氏名	取得資格・認定
高橋 知子	がん化学療法看護認定看護師
廣田 紘子	がん性疼痛看護認定看護師
佐藤 晶子	がん放射線療法看護認定看護師
岐部 久恵	皮膚排泄ケア認定看護師
古田 聡美	緩和ケア認定看護師

▼ 医療情報管理室

氏名	取得資格・認定
中川 博之	院内がん登録実務中級認定者

6

がん関連発表



▼ 学会

発表者	題名	発表学会	発表年月	場所
吉道 剛、光富 公彦	巨大卵巣腫瘍を併発した I 型糖尿病の 1 例	第 316 回日本内科学会九州地方会	2017/1/12	福岡
高祖 英典、相場 崇行、 倉光正太郎、的野 る美、 河野 浩幸、梅田 健二、 田原光一郎、穴井 秀明	右下葉非小細胞肺癌完全切除例におけるリンパ節転移に関する検討	第 117 回日本外科学会定期学術集会	2017/4/27	横浜
高祖 英典、相場 崇行、 倉光正太郎、的野 る美、 河野 浩幸、梅田 健二、 田原光一郎、穴井 秀明、 森内 昭	長期経過観察にて増大傾向を示し切除された Ciliated muconodular papillary tumor の 1 例	第 34 回日本呼吸器外科学会総会	2017/5/18	福岡
甲斐 博宣、甲斐 友喜、 羽田 真郎、奈須 伸吉	孤立性後腹膜転移を認めた大腸癌の 1 例	日本泌尿器科学会第 72 回大分地方会	2017/5/27	大分市
大塚雄一郎、得丸 智子、 豊田 亮、山下 勉、 新関 修、室 豊吉、 森内 昭、福地 聡士、 村上 和成、松本 敏文、 吉河 康二	特徴的な画像所見を呈した退形成性膵管癌の 2 例	第 103 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	2017/5/30	福岡
齊田 翌美、筒井 和美、 吉野 裕統、一宮 朋来	治験で発生した有害事象への対応事例	第 17 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2017	2017/9/2	名古屋
甲斐 友喜	Kidney-specific knockout of Sav1 in the mouse promotes hyperproliferation of renal tubular epithelium through suppression of the Hippo Pathway	第 7 回中塚医学賞受賞セミナー	2017/10/2	大分市
高祖 英典、河村 昌寛、 南原 翔、久保 信英、 河野 浩幸、梅田 健二、 田原光一郎、穴井 秀明	当院における肺原発大細胞神経内分泌癌切除症例の検討	第 58 回肺癌学会	2017/10/15	横浜
新関 修、塩月 洋子、 大塚雄一郎、豊田 亮、 山下 勉、森内 昭	長期間経過観察された胃底異形度分化型線癌の一例	第 319 回日本内科学会九州地方会	2017/10/29	福岡
森内 昭	核の膨隆サイン (NBS) を用いた細胞診、組織診：膵管上皮内腫瘍 (前癌病変から癌に至る) の早期発見 Pancreatic ductal intraepithelial neoplasia: Cytological & Histological evaluation using Nuclear Bulging Sign (NBS)	第 63 回日本病理学会秋期特別総会	2017/11/2	東京
福石 和久、吉田 裕生、 津曲 恭一、高田 正温、 川俣 洋生、牛島 知実、 木村 修徳、衛藤 智章、 齊田 翌美、林 稔展	移植非適応成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATLL) 患者のサイトメガロウイルス (CMV) 感染症リスク因子の検討	第 27 回医療薬学会年会	2017/11/3	東京
岡田さおり	膈壁に発生した随外形質細胞腫の 1 例	第 32 回日本女性医学学会学術集会	2017/11/4	大阪府
森内 昭	ITPNs 様の拡張膵管内鑄型状充実性増殖巣を含む IPMC の 1 例	第 71 回国立病院総合医学会	2017/11/10	香川
増井飛沙人、浦川 里佳、 廣瀬 親、渋谷 充	ラジウム 223 の SPECT 撮影条件の検討	第 71 回国立病院総合医学会	2017/11/10	高松
森 康哲、出水 健教、 渋谷 充	放射線治療品質管理システム構築 2 年後の評価	第 71 回国立病院総合医学会	2017/11/10	高松

羽田 真郎、甲斐 博宣、 甲斐 友喜、奈須 伸吉	エンザルタミド維持療法は、去勢抵抗性 前立腺癌患者の予後に寄与するか	第 69 回西日本泌尿 器科学会総会	2017/11/11	大分市
-----------------------------	---------------------------------------	-----------------------	------------	-----

▼ 研究会

発表者	題名	発表研究会	発表年月	場所
一宮 朋来	症例検討（肺癌）	第 233 回 大分東研究会	2017/1/17	大分
森内 昭	近年の臨床病理学的変貌の中で乳がんを よりよく理解し、対処するために	第 111 回 大分東臨床懇話会	2017/4/25	大分市
大塚雄一郎、塩月 洋子、 豊田 亮、山下 勉、 新関 修、田原光一郎、 穴井 秀明、森内 昭	経口胆道鏡が診断に有用であった早期胆 管癌の 1 例	第 3 回大分内視鏡 セミナー	2017/4/26	大分
里園 邦仁、増井飛沙人、 廣瀬 親、渋谷 充	SPECT 補正用 CT 画像診断時の最適管 電圧の検討	平成 29 年度 第 14 回中九州地区 研修会	2017/6/3	西別府 病院
浦川 里佳、渋谷 充	ABUS（乳房用超音波画像診断装置）の 導入と使用経験	平成 29 年度 第 14 回中九州地区 研修会	2017/6/3	西別府 病院
一宮 朋来	症例検討（肺小細胞癌）	第 237 回 大分東研究会	2017/6/13	大分
新関 修、塩月 洋子、 豊田 亮、山下 勉、 大塚雄一郎	後期高齢者の大腸上皮癌腫瘍に対する内 視鏡的粘膜下層剥離術の治療成績	第 389 回大分消化 器病懇話会	2017/9/11	大分
一宮 朋来	症例検討（肺癌）	第 240 回 大分東研究会	2017/10/17	大分
下村 真代	肺がん治療の副作用対策	オンコロジー 研修会	2017/10/27	大分市
高橋 浩平、中村 雄介	当院における乳腺超音波画像診断装置 （ABUS）の初期使用経験	大分東医師会臨床 懇話会	2017/11/28	大分市
生田 純子、高橋知子	放射線治療中の壮年期乳がん患者への 外来看護師の関わり ～患者が体験した日常生活の気がかりを 知る～	第 15 回 国立病院看護研究 学会学術集会	2017/12/9	東京

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター

がん年報 2017年

発行日：2019年1月

大分医療センター

〒870-0263 大分県大分市横田2丁目11番45号
(代表番号)TEL 097-593-1111 FAX 097-593-3106
(総合支援センター)TEL 097-593-1112 FAX 097-528-9651
ホームページ <http://nho-oita.jp/>

Cancer Annual Report 2017 Oita Medical Center

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター

〒870-0263 大分県大分市横田2丁目11番45号
(代表番号) TEL 097-593-1111 FAX 097-593-3106
(総合支援センター) TEL 097-593-1112 FAX 097-528-9651
ホームページ <http://nho-oita.jp/>